

第3回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 会議録（概要）

開催日時 平成18年11月9日（木）午後1時30分から3時30分
開催場所 ふれあい福祉センター 4階 会議室2・3
出席委員 10名（7名欠席）

議事

（1）平成19年度長野市の保育所保育料について

資料1に基づき保育課から説明をし、質疑・応答を行った。

会長

昨年も国の方針が決まらないということで保育料を据え置いたが、今年も国の方針がはっきりしないということですが、皆さんご意見どうでしょう。

保育課

確かに会長さんの言われるとおり、昨年の3月の審議会では所得税の定率減税の段階的な廃止が平成18年度から実施されるということで、それに併せて保育料の改正を行うということで検討されましたが、今年もまだ同じような話をしているということで申し訳ありません。国で新たに税源移譲という話がでてきましたが、昨年の時点でよく状況をつかんでいればよかった訳ですが、正直つかみきれなかったという点が理由の一つにあります。

また、資料1ページに（3）子育て減税（4）幼児教育の無償化とありますが、ここが今後大きな動きになると考えられますので、これがあるから保育料の改正をどうしようかというところですが、国ではまだ具体的な動きがないというのが現在の状況です。

会長

これについて今回は決定ではなく、皆さんからご意見を伺うということでよいのでしょうか。

保育課

はい。年明けにもう1回ご審議いただき、最後に答申という予定でいきたいと考えております。なお、年末から年始にかけて国の動向も見えてくるものと思っておりますので、よろしく申し上げます。

委員

資料4ページの中核市保育料軽減率の表を見ると長野市は中間ぐらいで、軽減率は27.7%となっているが、これは市の持ち出し分ということなのか。

保育課

そのとおりです。

委員

保育料は、世帯全員の所得税のトータルで階層が決まっているため、祖父母等と同居している世帯は保育料が高くなり大変かと思うので、もう少し軽減をしていただきたい。そうすることにより少子化時代に少しでも子育てをし易くなるのではないかと。

保育課

保育料は世帯全員の所得税ではなく、扶養義務者ということなので保護者だけの所得税となっています。ただし、母親等がおじいちゃんなどの扶養になっていけば、おじいちゃんの所得税分も加算されることになります。

長野市では、子育て支援は金銭的な援助だけでなく、この表には数字として出てこない人的な支援というものを、これから積極的に行ってまいりたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

委員

テレビでニュースを見ていたら、景気は回復したとは言いながら実態はそうは感じられない、というタクシードライバーの話があった。景気が回復したと実感している市民はいったいどのくらいいるのかという中で、保育料を払っている若い世代の方にとっては保育料が上がることは非常に辛いことだと思う。保育料を支払うのは義務であり仕方がないことですが、子育てをするのに辛さを感じないような施策を市で検討願いたい。

委員

保育料は安い方が良いが今ここで結論を出すのではなく、まだ時間があるので、もう少し国の動向を見ながら検討するという事で次回に送ったらどうか。

委員

幼保一体化の流れがある中で幼児教育を求めていくということもあるので、確かにお金の問題も重要ではあるが、それよりも必要なら1年中保育をみてもらえる等、親の要望に応えられるような保育園の運営の方が重要だと考えます。保育料は安い方がありがたいが、高い、安いだけではなく、質の高い保育・教育を望む人の声というものも考えていただき、何とかそういった方向にならないかと思う。

会長

今日のこの議題については、次回の会議までに考えていただくということで次に進みたいと思います。

(2) 市立保育園の民営化について

資料2に基づき保育課から説明をし、質疑・応答を行った。

委員

民営化になることについてよく理解していない保護者が多く、民営化になっても今

までどおりの保育ができるものと思っている。民営化になった場合、市はどこまで関わっていくのか。

保育課

民営化する方法は大きく分けて二つあり、一つは委託でもう一つは移管であります。委託というのは、施設は長野市で管理し、運営を社会福祉法人等にお任せをすることで、移管は施設を譲渡し、管理運営全てが民間になるということです。仮に委託になった場合ですが、市の運営方針に基づいて社会福祉法人等が運営をすることになりますので、職員の配置や保育時間等といった保育の内容は、ある程度市の保育方針に基づいて運営していただくこととなります。ただし、保護者との話し合いの中で、もう少し保育時間を延ばしてほしいとか、こういうものを取り入れてほしいとかいうものがあれば市の方針にプラスして運営することも可能です。基本的に市としましては、長野市の保育のレベルを今より下げるということは全く考えておりませんので、それ以上のものであれば新たに取り入れていくことも必要だと考えております。

委託した後で長野市がどの程度関わっていくのかということですが、例えば条件の中で「長野市の方針を何年間引き継ぐものとする」ということがあれば、当然その間は市が関わっていくこととなります。そうでなくても私立保育所に対しては、市の福祉監査室で最低基準が守られているとか、保育がきちんとできているのかという部分をしっかり見ておりますので、そういう点で市もある程度関与していくこととなります。

移管した場合はどうなるかといいますと、建物は譲渡してしまうので何も言えませんが監査という面で指導をしていきますので、委託と同じように市でも関与していくこととなります。いずれにしても保育は児童福祉法に基づき市が責任をもって行うものですので、私立なので無関係ということではありませんのでよろしく願います。

委員

私は、民営化にするのは経費削減のためというイメージがある。先程、保育料の軽減率ということで経費面だけでなく、これからどんどん人的支援をしていきたいという説明があったが、そのこととこれから民営化にするということが少し矛盾しているような気がする。

民営化にすることは心配なことが先に立ち、メリットが見えてこないので保護者に十分理解を得られるよう説明を行っていただきたい。

保育課

ご意見を伺っていると、どうも公立保育所は良くて私立保育所はいけないみたいな感じに聞こえてきますが、そうではなく先程も話したように公立・私立どの保育園も就学前の子どものことを十分に考えて運営をされております。

市の考えとしては、コスト削減はもちろんしなければなりません、保育所に子育て

て支援センターを併設し、未就園児の入園や集団生活への不安についての相談をしたり、こども広場で気軽に遊んでもらうため、そういったところに職員を配置する等の人的支援を行いたいと思っております。

委員

実際に民営化したことによる成功例や課題など具体例があれば今後検討していく上で参考になる。また、実際にそこで働いている保育士の意見なども聞ければ更に良いと考えるので、そういった資料をこの会で提示していただければありがたい。

会長

市内で民間に移管等した保育所はありますか。

保育課

委託していた保育園を移管したというところは2園ございます。また、今年度から指定管理者制度を導入して社会福祉法人などに委託している保育園が4園あります。

民営化の一番大きな問題は、以前は社会福祉法人でなければ保育所を運営することはできなかったものが、今は法律が変わり株式会社でも運営ができるようになったことであり、株式会社だと儲けを追求していくのでは、という問題があります。市としては、「保育所のあり方懇話会」で保護者等にも説明しましたが、株式会社ではなく、社会福祉法人や学校法人などに委託や移管をする方針であります。

それから公立保育所と私立保育所の役割というものを持っていると思います。たとえば延長保育ですが、公立は夜7時までですが、私立は8時まで行っているところもあります。一概に成功例とか失敗例という分け方はできないと思います。

会長

私は、東京で民営化された施設を2箇所見学したことがあります。地域事情はだいぶ違いますが、その保育園は大変な人気で待機園児が非常に多いといった状況でした。数年前に規制緩和され、保育所は措置ではなく情報を提供して利用者が選択できるというように変わり、そういう中で利用者の要望に応えようと一生懸命やっていることがよく分かります。その保育所は専門家の間でも非常に評価は高いですね。特に大都市では保育の質を向上させなくては信頼を得られないので、むしろ民営化の方が切磋琢磨し、より良い保育を目指そうと努力しているので良いと思います。

委員

私も民営化は良いことだと思います。ただし、公立があるから私立も良くやっているとあるので、これが全ての施設が民営化になった時にどうなるかというところに問題があると思います。私も民営化された施設で働いていますが確かに以前よりサービスはアップしました。しかし、これがいつまで続くのかという部分では少し不安があります。保育所の民営化についても行政との関わりを持っていければ良いと思うので、少し先を見ながら考えていっていただきたい。

会長

保護者の皆さん、ご意見どうでしょう。

委員

城東保育園と済生会保育園は隣接していますが、城東保育園が移管されるとなると建物は取り壊しをするのでしょうか。

保育課

現在、具体的なことは決まっていますが、確かに施設はフェンスひとつで繋がっていますので大きな改築計画があれば一緒に取り込んでいこうと考えています。そうでなければ仮に統合すると園児は100人程度になりますので、現在の調理室ではどちらも小さいため1箇所にするために拡張工事は必要となってきます。また、以前は済生会保育園が未満児で城東保育園は以上児を預かっていたので、今の施設を有効に使うのであれば未満児保育、以上児保育といったように分けて使う方法もあります。いずれにしてもこれから検討していく予定です。

委員

私は以前、私立の保育園で働いていましたが、有給休暇がなかなか取れないといった状況でした。それが今、公立保育園で代替保育士として働いていますが、公立の先生はたくさん有給休暇を取得されているので、そういう部分が全然違うなど感じました。また、私立の場合は結婚したら退職する人がほとんどですが、公立は子育てしながら働けるという環境が良いと思うので、民営化になってもそういったことが維持できれば良いと思います。

委員

公立の保育園に通わせたことがないので、どういう保育をしているのかよく分かりませんが、私の子どもが通っている私立保育園では給食は園児の見えるところで作ってくれていて、暖かい物は暖かい内に食べられるというところが良いと思います。また、周囲の農家が野菜やりんごを持ってきてくれるなど、地域の人々とのふれあいがあるので私立の方が柔軟性があるように感じます。それと、やはり保育士は私立の方が休みづらいので働くとするれば公立だと思います。公立の保育士は市の職員ですが、民営化になった場合、職員はどうなるのですか。

保育課

公立保育所には正規職員と嘱託職員がいます。現在、人件費削減のため6割は嘱託職員です。正規職員は人事異動で別の公立保育所に行くか、先程申し上げた子育て支援センターなどに配属されることとなります。嘱託職員の方は希望により別の公立保育所に行くか、新たに民営化される保育所で働いていただけるような方向に持っていければと考えております。

委員

民営化には心配な点があるかもしれないが、官から民という時代が来ておりますし、もし不安の声があるなら指定管理者制度により3年ぐらい委託を試してみたらどうか。

とにかくやらないことには前に進まないと考えます。

会長

経験のないことは確かに不安ですので、移管をする前に委託という方が良いのかも
しれません。皆さん貴重なご意見ありがとうございました。時間の関係上、次に進み
たいと思います。

(3) その他

児童福祉課より、長野市子育て支援事業所連絡協議会で今年度実施した「事業所
における子育て家庭への支援に関するアンケート」の調査結果について説明した。

会長

現在、国の一番のキーワードが「ワークライフバランス」です。今後こういったデ
ータを基に子育て支援をしていければ良いと思います。

それでは、本日の議案(1)の平成19年度長野市の保育所保育料については引き
続き次回の会議で検討していただき、(2)の市立保育園の民営化については、ある
程度市の方針が示されたので検討した結果、若干課題等ではありますが大幅な反対意見
は特になかったので、方向性について委員の皆さんの理解を得たということで本日の
議事を終了します。

以上